

2025年

3月3日 (月)

18:00~

第183回
北海道大学小児科
特別集談会
ハイブリッド開催

現地：第3講堂 + Zoom
(北大医学部臨床講義棟)

『細胞でがんを治す』

名古屋大学医学部附属病院
小児がん治療センター 病院講師
島崎 紀子 先生



遺伝子組み換え食品が広く流通していますが、同じようにヒトの細胞の遺伝子も改変することができます。この遺伝子改変技術を利用して免疫細胞の抗腫瘍効果を高め、がんを治療しようという研究が進んでいます。国立シンガポール大学では、様々な種類の遺伝子改変免疫細胞を開発し、臨床研究でその効果を評価してきました。本講演では、どのようにこの細胞療法を開発し、臨床に応用して治療に結び付けてきたか、ご紹介します。

講師略歴：1998年に新潟大学医学部を卒業後、慶應義塾大学医学部小児科で小児血液腫瘍を専門として臨床に従事。2007年からSt. Jude Children's Research HospitalおよびNational University of Singaporeの細胞療法のパイオニアの一人であるDario Campana教授の研究室で、研究開発から臨床応用まで携わる。2021年に帰国し、京都大学iPS細胞研究財団。2023年からは名古屋大学医学部附属病院小児がん治療センターにて研究に従事。

Web参加の方はこちらのZoomミーティングにご登録の上、お入り下さい →

パソコンでの参加用URLをご希望の方は
下記アドレスにご連絡下さい

お問い合わせ：小児科医局 011-706-5954

e-mail：secretary-ped@med.hokudai.ac.jp

